

気軽に

和10

自然、風土に包まれた、山陰のステキな窯元へ行こう。

山陰の美しい風土に包まれた窯元。一つ一つ丁寧に作られる器は生活に彩りを与えてくれる。そんな作品が生まれる窯元を紹介。



昔からのスタイルを守り続け、時代にあった感性で生まれる美。



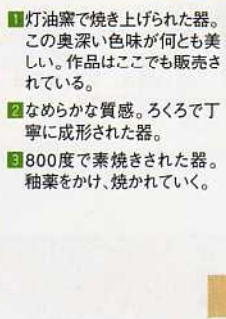
昭和20年につくられた登り窯では40時間かけて焼かれる。



ろくろの作業場の壁に飾られた陶器たち。レトロな雰囲気に溶け込んでいる。



「中井窯」を守り続ける三代目・坂本章さんと父・實男さん。



- 1 灯油窯で焼き上げられた器。この奥深い色味が何とも美しい。作品はここでも販売されている。
- 2 なめらかな質感。ろくろで丁寧に成形された器。
- 3 800度で素焼きされた器。釉薬をかけ、焼かれていく。



因州・中井窯

「中井窯」は自然に溶け込んだ川沿いに佇む。



DATA
 ●鳥取市河原町中井243-5
 ☎(0858) 85-0239
 ㊟あり



柳宗理とのコラボレーション作品をつくり、人気ショップ「BEAMS」のレーベル「フェニカ」にも販売され、今や若い世代からも多大な注目を浴びる「中井窯」。「現代の生活にあった器づくりを心がけている」という坂本さん。ここの特徴は白・緑・黒の釉薬を基本とした色味、薪集めから土作り、釉薬すべて手作りという昔からのスタイル。白の釉薬は藁と薪の灰を調合、緑はそれに銅を調合し発色した天然の色合いだ。坂本さんの手によって、あったかい輝きある器が生まれ、その美しさが多くの人々を魅了している。



■柳宗理デザインの急須 (13650円)、湯のみ (2100円)。



■柳宗理デザインの皿 (8寸/6090円、6寸5分/3465円)。



■「フェニカ」の角皿 (5145円)。



■「BEAMS」のレーベル「フェニカ」の急須 (9975円)。